

令和2年度 えりも高校授業評価アンケート結果分析

アンケート実施期間：12月1日～12月8日

質問項目（各教科・科目共通）

先生に関する項目	①	授業の目標がわかりやすい。
	②	聞き取りやすい声である。
	③	黒板やパワーポイントなどの文字が見やすい。
	④	授業の難易度は自分に合っている。
	⑤	授業は集中できる環境にある。
	⑥	一方的な説明だけでなく、ペアワークやグループワークなど、自分で考えたり発表したりできるような授業である。
	⑦	どのように評価されるか説明している。
生徒自身に関する項目	⑧	授業規律を守って学習している。
	⑨	授業に積極的・主体的に参加している。
	⑩	この授業を受けて、学力や技能の向上を実感している。
	⑪	この授業を受けて、その科目に対する興味や関心が深まった。

○生徒の評価

4～1の段階で評価する。

4	そう思う。
3	どちらかというと思う。
2	どちらかというと思わない。
1	思わない。

○評価の段階

生徒の評価の平均を以下の評価とする。

3.25以上	A評価
2.5以上	B評価
1.75以上	C評価
1.75未満	D評価

教科（国語科）

①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動）

⑦評価のつけ方を生徒と共有できていることがわかった。今後も観点別での評価の工夫・共有をしていきたい。

②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動）

評価として低くはないが、⑨～⑪をさらに伸ばしていきたい。生徒が主体的に学びに向かえるような授業作りを工夫する。

③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動

教科ごとの分析にとどまらず、科目ごとでも分析し今後の授業改善に生かしていきたい。

教科（地歴公民科）
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動）
生徒が教科書から調べたり、事象について考えたりする活動の設定を心掛けた。その設定は生徒に対して伝わっている部分が増えたと考えられる。知識のみの注入ではない授業を心掛けたい。
②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動）
各学年、授業の難易度について、低く表れている様子である。生徒に「何が身についたのか」を実感させるまとめや振り返りを各単元で1回以上行いたい。難易度が高いと感じる生徒は増えていくと感じる。
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動
基礎基本の徹底を図り、生徒が「できる」といった実感を持たせたい。

教科（数学科）
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動）
・1年生は既習事項が多かったため、理解度、満足度ともに高かったと思える。3年生は選択授業であり、能力にあった授業をある程度行うことができたため評価が高かったと思われる。 ・声量や授業規律などといった、基本的な授業者の技量に関しては、一定の評価が得られている。 ・2年生基礎クラスにおいては、メンバー固定の成果があった。1年生については次年度どうするか検討しなければならない。
②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動）
・「学力の向上」や「教科への興味・関心」についての生徒評価は高くない。生徒の理解度に応じた問題精選や数学的話題の提供など、研鑽を重ねていかねばならない。
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動
・評価が高いのは良いことだが、適当につけている生徒も多くいるのではないかと。生徒にとってもこのアンケートが意味のあるものでなければならないのではないかと。

教科（理科）
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動）
1学年は全般的に評価が高く、モチベーションもあると思われる。今後も引き続き生徒のやる気を引き出す授業を心掛けたい。
②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動）
評価Bが付いたものはなかったが、2学年の化学基礎で、⑪が少し低かった。生徒の興味関心を引き出す工夫をしていきたい。
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動

教科（保健体育科）
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動）
1年生 ・全項目で点数が高いので今後も継続していきたい。 2年生 ・ペアワークやグループワークなど、今後も継続していきたい。 3年生 ・教員に対する項目は比較的高いため、今後も継続していく。
②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動）
1年生 ・全項目で点数が高いので今後も継続していきたい。 2年生 ・科目に対する興味関心が深まったという項目が低く、特に運動があまり好きではない女子の方で点数が低かったため、少しでもできたという達成感を持たせてあげたい。同様に授業の難易度についても、女子の場合はできる・できないの二極化にあるため、個別に目標を設定してあげたい。 3年生 ・自分自身に対する項目が低い。「やらされている」感覚にさせないように、工夫していきたい。
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動

教科（英語科）
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動）
全学年、ほとんどの項目でA評価であった。特に学年の生徒数が徐々に減少している中で、きめ細かな少人数習熟度別授業が実施できていると感じている。より一層その効果がより表れるように、今後も、発展クラスはより高みを目指せる指導を、そして標準・基礎クラスの生徒も「できる・わかる」を授業の中で実感できるように、基礎基本の反復学習を重点的にを行い、生徒が主体的に学習できるような授業展開を心掛けたい。
②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動）
2学年において授業を受けての「学力・技能の向上」と「興味・関心の深まり」の項目でB評価であった。学習内容が複雑になり、理解が困難になってきている生徒も少なからずいることから、より生徒の理解についての実態を把握しスモールステップで授業展開が行えるように工夫していきたい。
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動
今後も継続して、各授業でのねらいやポイントを提示し、何を学ぶのか、どのような技能が身につくのかなどを明らかにした授業展開をもっと心掛けていきたい。

教科（家庭科）
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動）
すべての学年において高評価である。今年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響で授業形態や内容を例年とは違った形で取り入れることとなった。しかし、感染予防を実施しながら、実習形式や実践的な内容の学習を進めることができた。今後も続けていきたい。
②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動）
生徒はよく学習しており、積極的に取り組んでいる。何を学び、何ができるようになったか実感を伴うことができるよう学習活動を行いたい。
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動
3 学年の科目では外部講師に来ていただき地域と連携した授業を行っている。今後とも、実施していきたい。

教科（商業・情報科）
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動）
・全学年とも全体的に評価が高かった。 ・実技科目が多く、自分の進路に直結した授業が多いと考える。
②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動）
・「グループワーク、ペアワーク」の項目は全学年ともに低かった。 → 個人で作成するものや検定指導に偏った可能性もあるので、見直していきたい。 ・1、2 学年に比べると、3 年生の「その教科に対する興味関心が高まった」という項目が低かった。 → 進路決定に伴い、選択科目のミスマッチが生じている可能性がある。
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動